



ハードウェアの設置

- インストール要件 (1 ページ)
- ベースステーションをインストールする (7 ページ)
- ベースステーションまたはリピーターを天井に取り付ける (8 ページ)
- ベースステーションまたはリピーターをデスクに取り付ける (12 ページ)
- ベースステーションまたはリピーターを壁面に取り付ける (14 ページ)
- ハンドセットにバッテリーを取り付ける (17 ページ)
- 充電クレードルをセットアップする (20 ページ)
- ハンドセットのバッテリーの充電 (21 ページ)

インストール要件

Cisco IP DECT6800シリーズは、次のハードウェアで構成されています。

- 6825 ハンドセット
- 6825高耐久ハンドセット
- 6823 ハンドセット
- 110 シングルセルベースステーション
- 210 マルチセルベースステーション
- 110 リピーター



(注) 110 シングルセルベースステーションは、マルチセルシステムでは使用できません。

Cisco IP DECT6800シリーズシステムのセットアップを始める前に、

- 必要なユーザ (ハンドセット) の数を決定します。

- 必要な電話回線（番号）の数を決定します。システムでサポートされている同時コールの総数に達していない場合、各ユーザは最大2回線および2つの同時コールを使用できます。
- ハンドセットの数を考慮して、必要なベースステーションの数を決定する：
 - 同時ハンドセット使用量の見積もり。詳細については、[ハンドセット登録（3ページ）](#)を参照してください。
 - カバーされるスペースのサイズ
 - ベースステーションの範囲。各ベースステーションは、屋外で最大984フィート（300メートル）、屋内で164フィート（50メートル）の範囲を持ちます。
 - 必要に応じて、中継をベースステーションに追加して、システムの範囲を拡張することができます。

表 1: ベースステーションの最大リピーター数

ベースステーション	リピーター
110 シングルセルベースステーション	6
210 マルチセルベースステーション	3

リピーターの範囲を指定します。各リピーターは、屋外で最大984フィート（300メートル）、屋内で164フィート（50メートル）の範囲を持ちます。

- コール制御システムをセットアップして運用する必要があります。サーバアドレス、ユーザID、およびパスワードを含むコール制御システム情報を取得します。情報を収集するときに[ワークシート](#)は便利です。
 - 各ベースステーションを設置する場所を計画します。
 - ベースステーションを壁または天井に取り付ける必要があるかどうかを決定します。ベースステーションを乾式壁（石膏ボード）に取り付けるための壁栓とネジを用意しています。
 - 各ベースステーションの計画された場所の近くにLAN接続があることを確認してください。ベースに付属のイーサネットケーブルは78.5インチ（200cm）ですが、最大で3937インチ（10,000cm）のストレートCAT5eケーブルの長さは任意です。
 - Power over Ethernet (PoE) を使用しない場合は、ベースステーションの適切な範囲を提供する領域にある、コンセントの近くにベースステーションを設置します。電源コードのアダプタの長さは82インチ（208cm）です。
 - ハンドセットが通信できるようにベースステーションが配置されていることを確認します。カバレッジがユーザにとって最適であることを確認してください。
- 110 シングルセルベースステーションを使用すると、中継を追加して、カバレッジを向上させることができます。

210 マルチセルベースステーションを使用して、カバレッジを向上させるための追加のベースステーションまたは中継器を追加できます。

- リピーターが必要な場合は、次のようになります。
 - リピーターを壁または天井に取り付ける必要があるかどうかを決定します。
リピーターを乾式壁（石膏ボード）に取り付けるための壁栓とネジを用意しています。詳細については、取り付け手順を参照してください。
 - 各リピーターの予定場所の近くに電気コンセントがあることを確認します。電源コードのアダプタの長さは 82 インチ（208 cm）です。
 - リピーターがベースステーションの範囲内にあることを確認します。各ベースステーションは、屋外で最大 984 フィート（300 メートル）、屋内で 164 フィート（50 メートル）の範囲を持ちます。

ハンドセット登録

110 シングルセルベースステーションに登録されているハンドセットは最大 20 です。また、30 ハンドセットを 210 マルチセルベースステーションに登録することができます。しかし、ベースステーションが処理できるアクティブなコールの数は、コーデックによって制限されています。

表 2: 110 シングルセルベースステーション 1 つと 210 マルチセルベースステーション 1 つに対してサポートされているアクティブコールの数

[Band]	110 シングルセルベースステーション	210 マルチセルベースステーション
コンカレントナローバンド	10	10
コンカレントセキュアナローバンド	8	8
広帯域	5	5

表 3: 多くの 210 マルチセルベースステーションに対してサポートされるアクティブコールの最大数

[Band]	マルチセルシステム
コンカレントナローバンド	2000
コンカレントセキュアナローバンド	2000
広帯域	1250



(注) ユーザが **Push to Talk** をオンにすると、ベースステーションによって、サポートされるアクティブコールの数が少なくなる場合があります。



(注) リピータを使用する場合、基本はより少ないアクティブなハンドセットをサポートします。

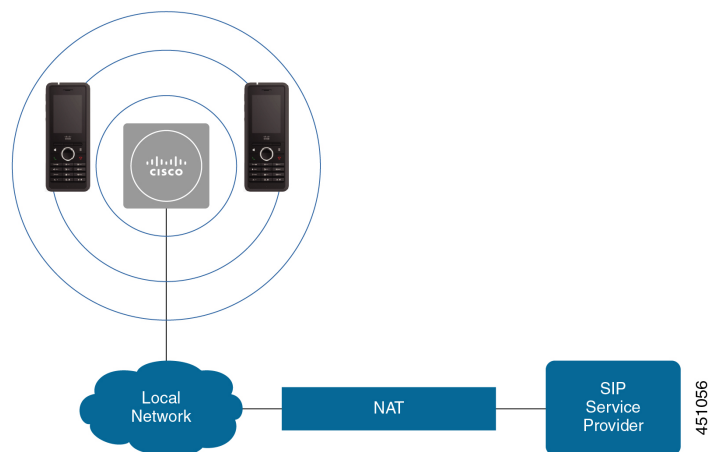
シングルセル展開とマルチセル展開では、ハンドセットとベースステーションの最大数が異なります。詳細については、「[シングルセルマルチセルネットワーク \(4 ページ\)](#)」を参照してください。

シングルセルマルチセルネットワーク

1つのセルシステムまたはマルチセルシステムのいずれかを設定できます。

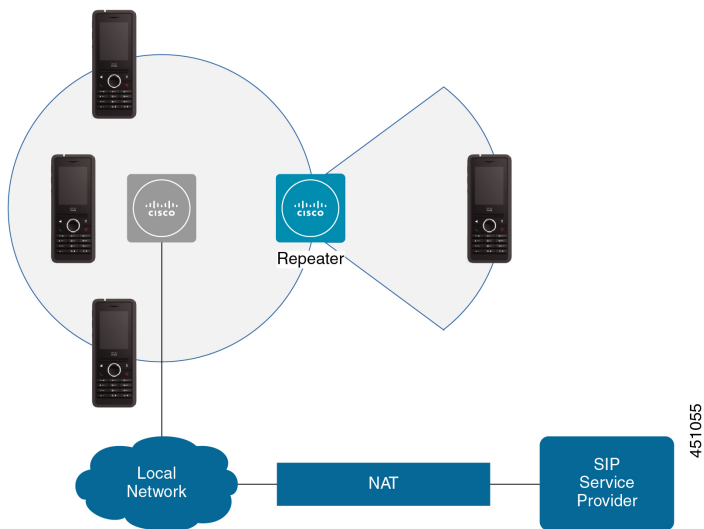
1つのセルシステムは、最大20ハンドセットの110シングルセルベースステーション1つまたは最大30ハンドセットの210マルチセルベースステーションで構成されています。また、ラジオのカバーを向上させるために、最大6つの110シングルセルベースステーションを搭載した110リピーター、最大3つの210マルチセルベースステーションを搭載した110リピーターを使用することもできます。次の図は、1つのベースステーションを持つシングルセルネットワークを示しています。

図 1: 単一セルネットワーク



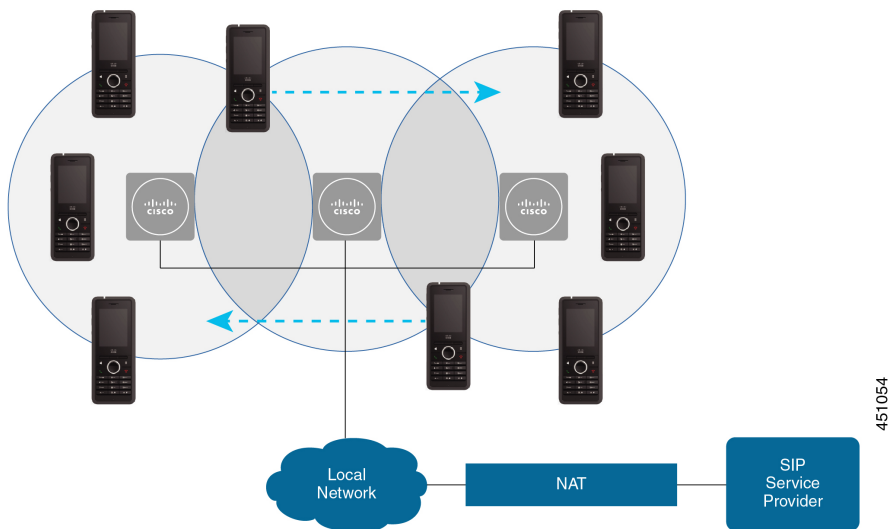
次の図は、1つのベースステーションを持つリピータを搭載したシングルセルベースステーションを示しています。

図 2: 1つのリピーターを搭載した単一のベースステーション



マルチセルシステムは、最大 1000 ハンドセットと最大 250 の 210 マルチセルベースステーションで構成されています。このシステムでは、ラジオのカバレッジを向上させるために、最大で 100 の 110 リピーターを使用することもできます。次の図は、3つのベースステーションを持つマルチセルネットワークを示しています。

図 3: マルチセルネットワーク



ベースステーションパッケージの内容

ベースステーションパッケージの内容は次のとおりです。

- ベースステーション

- ベースステーションスタンド
- イーサネット ケーブル
- 地域の電源アダプタ
- USB-電源ジャックケーブル
- 取り付けネジとプラグ
- 印刷されたコンプライアンス文書

ベースステーションを天井に取り付ける場合は、別の天井取り付けキットを注文する必要があります。

リピーターパッケージの内容

リピーターパッケージには、次の内容が含まれています。

- リピーター
- リピータースタンド
- 地域の電源アダプタ
- USB-電源ジャックケーブル
- 取り付けネジとプラグ
- 印刷されたコンプライアンス文書

リピーターを天井に取り付ける場合は、別の天井取り付けキットを注文する必要があります。

ハンドセットのパッケージの内容

あなたの携帯電話パッケージには次の内容があります：

- 付属のベルトクリップ付きハンドセット。ハンドセットの内側にはバッテリーがあり、バッテリーの接触部にはプラスチック片があります。



(注) バッテリーの接触部を覆うプラスチックを取り外す必要があります。詳細については、[ハンドセットにバッテリーを取り付ける \(17 ページ\)](#) を参照してください。

- 付属の USB ケーブルでクレードルを充電してください。
- 充電クレードルの地域電源アダプタ。
- ハンドセットのベルトクリップを取り替えるためのプラスチックカバー。



(注) ベルトクリップを使用せずにハンドセットを使用する場合は、この小さいプラスチックのカバーを必ず保存してください。

- 印刷されたコンプライアンス文書。

ハンドセットを登録するときに、箱にラベルを付ける必要があります。

電力要件

ベースステーションには、次のいずれかの電源が必要です。

- Power over Ethernet (PoE) - 最小 IEEE 802.3 : パワークラス 2 (3.84~6.49W)
- あなたの地域に特有の電源アダプター (USB-電源ジャックケーブル)。電源アダプターはコンセントに接続されます。

携帯電話は、3.7V、1000mAh、4.1Wh、リチウムイオン電池によって供給されています。

ハンドセット充電器の電源ケーブルは地域の電源アダプタに接続し、電源アダプタはコンセントに接続する必要があります。

ベースステーションをインストールする

ベースステーションがネットワークに接続すると、LEDが点灯してネットワークの状態を示します。

- グリーン接続。
- 黄色の接続が進行中です。
- 赤色、点滅 - ネットワークに接続できません。
- 赤色、実線 - ネットワーク接続のリセット。

この手順を使用して、ベースステーションを選択した場所にマウントする前に、ベースステーションとネットワークが相互に通信できることを確認します。

始める前に

ベースステーションには次のものがが必要です。

- Power over Ethernet (PoE) または電源アダプター
- LAN 接続
- ネットワークで DHCP によって割り当てられた IP アドレス

手順

- ステップ1** イーサネットケーブルの一方の端をベースステーションに差し込みます。
- ステップ2** LAN ポートにイーサネット ケーブルの他方の端を差し込みます。
- ステップ3** PoEを使用しない場合は、電源アダプタをベースステーションに差し込み、コンセントに差し込みます。
- ステップ4** 数分後に LED が赤く点滅する場合は、次の手順を実行します。
- ベースステーションの下端にあるリセットボタンを探します。
 - LED が赤色に点灯するまでリセットを長押しします。
 - リセットをリリースします。

LEDがオレンジ色に点滅し、接続しようとしています。LEDが緑色に点灯しない場合、ベースステーションはIPアドレスを取得できません。詳細ヘルプは[ベースステーションのLEDは赤色です](#)をご覧ください。

次のタスク

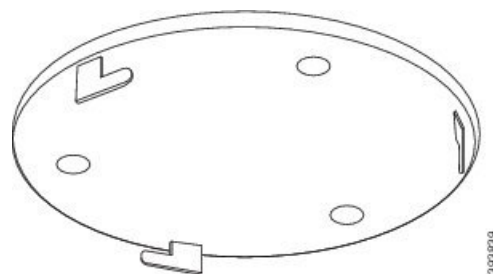
次のいずれかの手順でベースステーションを取り付けます。

- [ベースステーションまたはリピーターを天井に取り付ける \(8 ページ\)](#)
- [ベースステーションまたはリピーターをデスクに取り付ける \(12 ページ\)](#)
- [ベースステーションまたはリピーターを壁面に取り付ける \(14 ページ\)](#)

ベースステーションまたはリピーターを天井に取り付ける

ベースステーションまたはリピーターを天井に取り付けることができます。それらは、天井に取り付けるカスタムの天吊り金具を使用します。天井取付金具を注文する必要があります。

図 4: 天井マウント ブラケット



ベースステーションやリピーターは、屋外で最大 984 フィート（300 メートル）、屋内で 164 フィート（50 メートル）の範囲を持ちます。

このタスクでは、デバイスという用語は、ベースステーションまたはリピーターを意味しません。

始める前に

以下の物が必要です:

- 天井マウントブラケット
- 鉛筆
- 天井構造に適した取り付け用のハードウェア（ネジとプラグ）。
- ベースステーション: 取り付け場所に近い LAN 接続
- ベースステーション: PoE を使用しない場合は、取り付け場所に近い電源コンセント
- リピーター: 取り付け場所に近い電源コンセント
- ベースステーションがネットワークと通信できることを確認します（[ベースステーションをインストールする（7 ページ）](#) を参照）。通信可能になり、LED が緑色になると、ケーブルを抜くことができます。

カバレッジエリアと建物の建設資材を考慮して最適な配置を決定します。

- 210 マルチセルベースステーションがある場合は、追加のベースステーションまたは中継器を追加する必要がある場合があります。
- 110 シングルセルベースステーションがある場合は、110 リピーターを追加する必要がある場合があります。

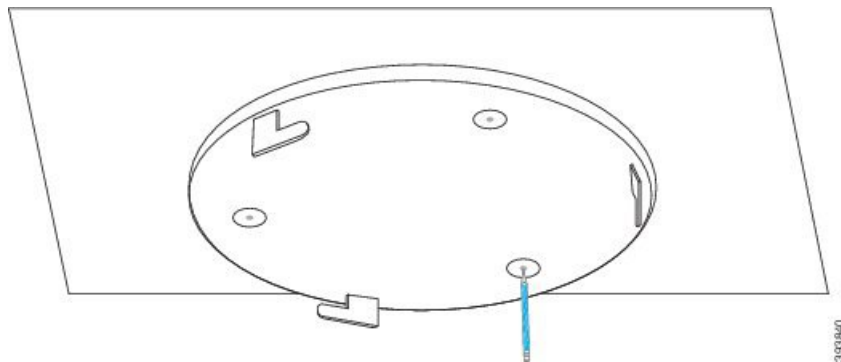
ハンドセットのサイト調査ツールを使用して、配置を計画することができます。

手順

ステップ 1 取り付け位置に、壁面用ブラケットを取り付けます。

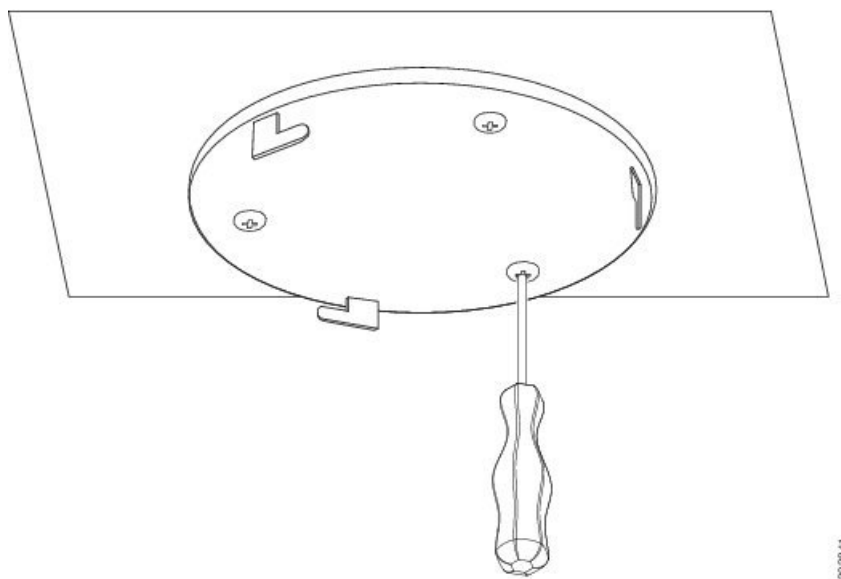
ステップ 2 ネジの位置をマークします。

ベースステーションまたはリピーターを天井に取り付ける



ステップ3 製造元の指示に従ってプラグを取り付けます。

ステップ4 ブラケットとプラグにネジを取り付けます。



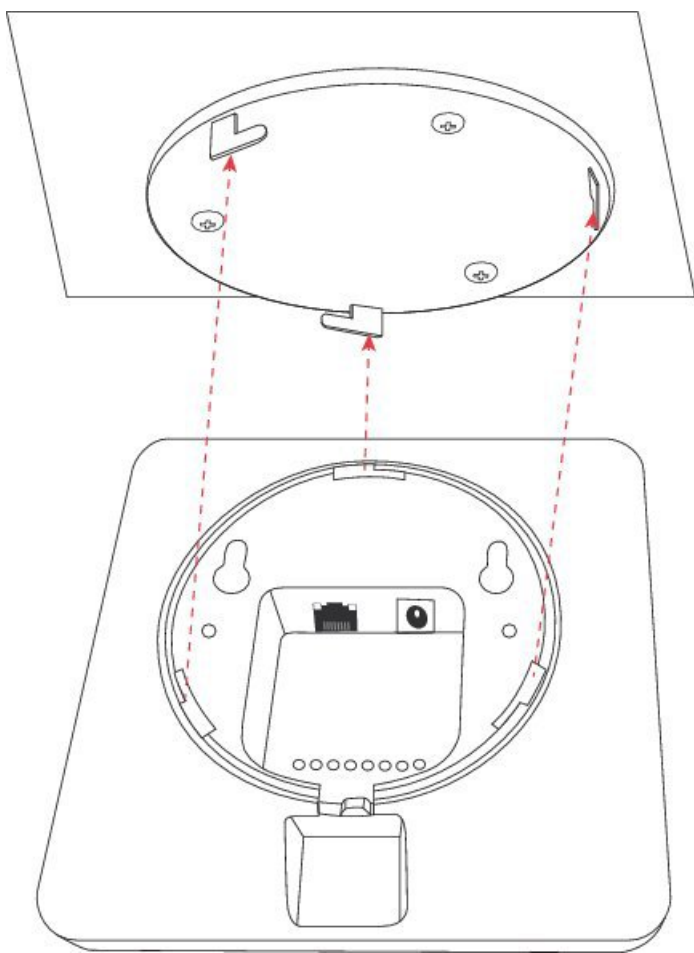
ステップ5 ベースステーションのみ: イーサネットケーブルをデバイスに接続し、デバイスのスロットにケーブルを配線します。

ステップ6 デバイスに電力を供給するには、次のようにします。

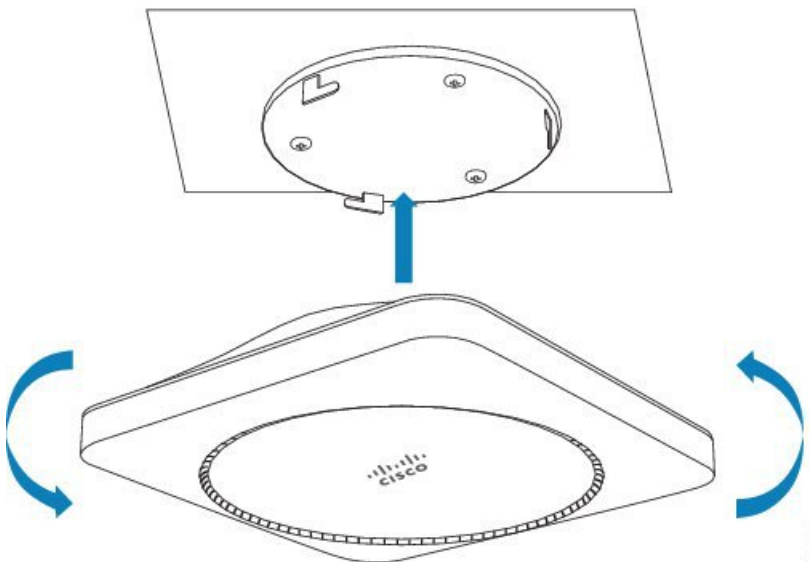
- LAN 上で PoE を使用するベースステーション: 追加の電力は必要ありません。
- PoE なしのベースステーション: 電源アダプタをベースステーションに差し込み、ケーブルをベースステーションのスロットに通します。
- リピーター: 電源アダプタをリピーターに接続し、ケーブルをリピーター内のスロットを介してルーティングします。

ステップ7 ブラケットのスロットをデバイスのスロットに合わせ、デバイスが所定の位置にロックされるまで左に回します。

この図は、ベースブラケットのベースステーションへの位置合わせを示しています。リピーターの背面は、ベースステーションと似ています。



この図は、デバイスを回して取り付けブラケットに固定する方法を示しています。



ステップ 8 ベースステーションのみ: LAN ポートにイーサネット ケーブルを差し込みます。

ステップ9 必要に応じて、電源アダプタを電源コンセントに差し込みます。

次のタスク

次のいずれかの操作を実行します。

- ベースステーションのインストール:
 - 手動設定: [管理 Web ページ](#)にログインする and [ベースステーション](#)を設定します。
 - 自動設定: [管理 Web ページ](#)にログインする and [ハンドセットの登録を開始する](#)
- リピーターのインストール: [リピーターの追加](#)

ベースステーションまたはリピーターをデスクに取り付ける

ベースステーションまたはリピーターは、机などの水平面に置くことができます（ブックシェルフなど）。ベースステーションまたはリピーターが簡単にノックオフされない場所を選択してください。

ベースステーションやリピーターは、屋外で最大 984 フィート（300 メートル）、屋内で 164 フィート（50 メートル）の範囲を持ちます。

このタスクでは、デバイスという用語は、ベースステーション またはリピーターを意味します。

始める前に

以下の物が必要です:

- ベースステーション: 取り付け場所に近い LAN 接続
- ベースステーション: PoE を使用しない場合は、取り付け場所に近い電源コンセント
- リピーター: 取り付け場所に近い電源コンセント
- ベースステーションがネットワークと通信できることを確認します（[ベースステーションをインストールする（7 ページ）](#)を参照）。通信が可能で LED が緑色の場合、最終的な場所でベースステーションをテストしていない場合は、ケーブルのプラグを抜くことができます。

カバレッジエリアと建物の建設資材を考慮して最適な配置を決定します。

- 210 マルチセルベースステーションがある場合は、追加のベースステーションまたは中継器を追加する必要がある場合があります。

- 110 シングルセルベースステーションがある場合は、110 リピーターを追加する必要があります。

ハンドセットのサイト調査ツールを使用して、配置を計画することができます。

手順

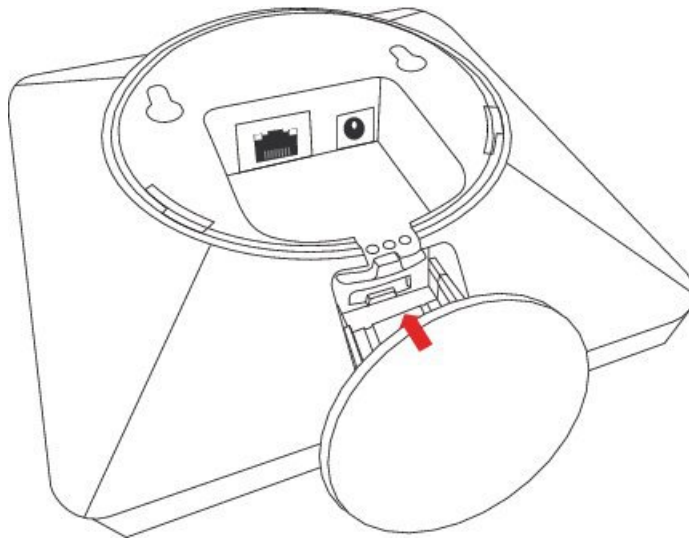
ステップ 1 ベースステーションのみ: イーサネットケーブルをデバイスに接続し、デバイスのスロットにケーブルを配線します。

ステップ 2 デバイスに電力を供給するには、次のようにします。

- LAN 上で PoE を使用するベースステーション: 追加の電力は必要ありません。
- PoE なしのベースステーション: 電源アダプタをベースステーションに差し込み、ケーブルをベースステーションのスロットに通します。
- リピーター: 電源アダプタをリピーターに接続し、ケーブルをリピーター内のスロットを介してルーティングします。

ステップ 3 スタンドをデバイスに差し込み、カチッと所定の位置に収まるまで押します。

このスライドの図は、ベースステーションへのスタンド接続を示しています。リピーターの背面は、ベースステーションと似ています。



ステップ 4 ベースステーションのみ: LAN ポートにイーサネットケーブルを差し込みます。

ステップ 5 必要に応じて、電源アダプタを電源コンセントに差し込みます。

次のタスク

次のいずれかの操作を実行します。

- ベースステーションのインストール:

- 手動設定: [管理 Web ページ](#)にログインする and ベースステーションを設定します。
- 自動設定: [管理 Web ページ](#)にログインする and ハンドセットの登録を開始する
- リピーターのインストール: [リピーターの追加](#)

ベースステーションまたはリピーターを壁面に取り付ける

ベースステーションまたはリピーターを壁に取り付けることができます。壁に2本のネジを差し込み、ベースステーションまたはリピーターをネジの頭に滑り込ませるか、または天井取り付けブラケットを使用できます。

できるだけ高いところにベースステーションまたはリピーターを設置することをお勧めします。可能であれば、ラジオカバレッジを向上させるため、下向きの角度で取り付けてください。

ベースステーションやリピーターは、屋外で最大 984 フィート (300 メートル)、屋内で 164 フィート (50 メートル) の範囲を持ちます。

このタスクでは、デバイスという用語は、ベースステーションまたはリピーターを意味します。

始める前に

以下の物が必要です:

- 鉛筆
- レベル
- 巻き尺
- 壁構造に適した取り付け用ハードウェア (ネジと壁のプラグ)。天井取り付け用ブラケットを使用することもできます。
- ベースステーション: 取り付け場所に近い LAN 接続
- ベースステーション: PoE を使用しない場合は、取り付け場所に近い電源コンセント
- リピーター: 取り付け場所に近い電源コンセント
- ベースステーションがネットワークと通信できることを確認します ([ベースステーションをインストールする \(7 ページ\)](#) を参照)。通信可能になり、LED が緑色になると、ケーブルを抜くことができます。

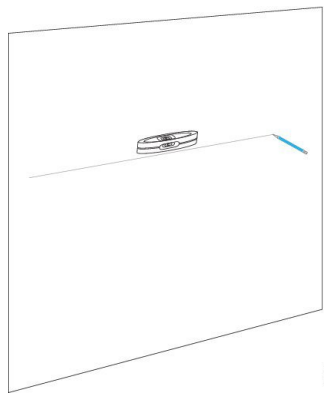
カバレッジエリアと建物の建設資材を考慮して最適な配置を決定します。

- 210 マルチセルベースステーションがある場合は、追加のベースステーションまたは中継器を追加する必要がある場合があります。
- 110 シングルセルベースステーションがある場合は、110 リピーターを追加する必要がある場合があります。

ハンドセットのサイト調査ツールを使用して、配置を計画することができます。

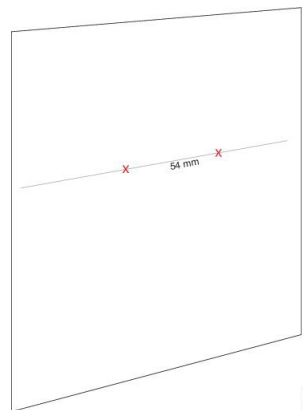
手順

- ステップ 1** レベルを希望の場所で、天井より少なくとも 2.25 インチ (5.7 cm) 下に保持し、レベルラインを描きます。



- ステップ 2** ネジの位置をマークします。

- 天井取り付け用ブラケットがない場合: ネジが 2.126 インチ (54 mm) の位置 (中央から中央) になるように回線をマークします。



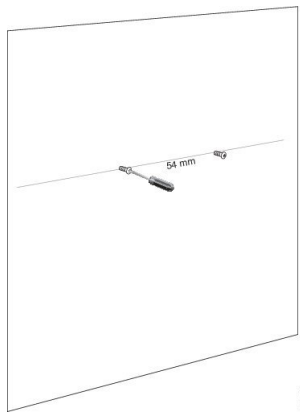
- 天井取り付け用ブラケットを使用した場合: ブラケットを固定して、2本の穴が回線に交差するようにします。穴をマークします。

- ステップ 3** 製造元の説明に従って、壁面のプラグを取り付けます。

- ステップ 4** ネジを差し込みます。

■ ベースステーションまたはリピーターを壁面に取り付ける

- 天井取り付けブラケットなしの場合: ネジの頭と壁の間が約 0.375 インチ (9.52 mm) になるまでネジでネジを締めます。



- 天井取り付け用ブラケットを使用した場合: ネジの穴とネジの上にブラケットを固定します。ブラケットが動かないようにします。

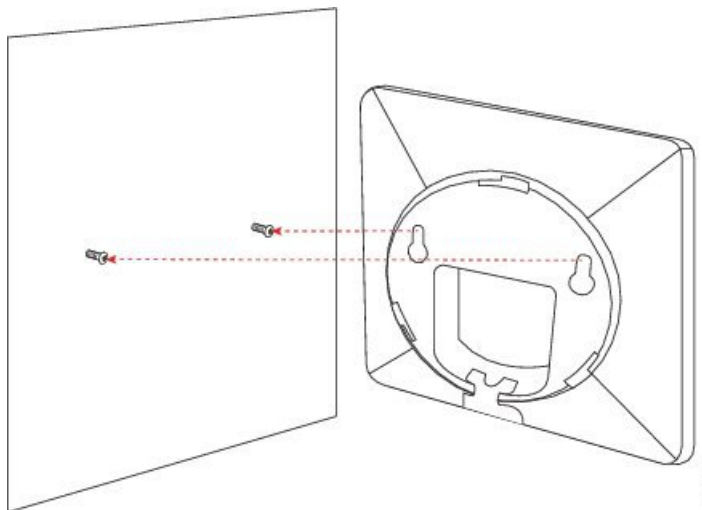
ステップ 5 ベースステーションのみ: イーサネットケーブルをベースステーションに接続し、ベースステーションのスロットにケーブルを配線します。

ステップ 6 デバイスに電力を供給するには、次のようにします。

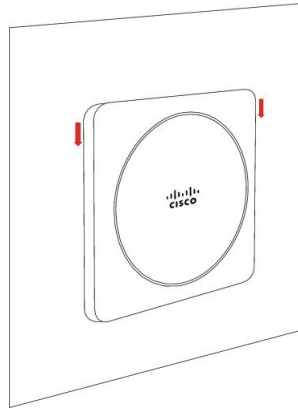
- LAN 上で PoE を使用するベースステーション: 追加の電力は必要ありません。
- PoE なしのベースステーション: 電源アダプタをベースステーションに差し込み、ケーブルをベースステーションのスロットに通します。
- リピーター: 電源アダプタをリピーターに接続し、ケーブルをリピーター内のスロットを介してルーティングします。

ステップ 7 装置を壁面に取り付けます。

- 天井取り付け用ブラケットがない場合: この図は、ネジ頭とデバイスの位置合わせを示しています。



この図は、デバイスをネジ頭に固定する方法を示しています。



- 天井取り付け用ブラケットの場合: 底部の Cisco ロゴの文字を含むデバイスを押さえて、少し右に旋回します。デバイスの底部にあるスロットとブラケット上のフックを合わせて、デバイスをブラケットに挿入し、デバイスを取り付けます。

ステップ 8 ベースステーションのみ: LAN ポートにイーサネット ケーブルを差し込みます。

ステップ 9 必要に応じて、電源アダプタを電源コンセントに差し込みます。

次のタスク

次のいずれかの操作を実行します。

- ベースステーションのインストール:
 - 手動設定: [管理 Web ページにログインする](#) and [ベースステーションを設定します](#)。
 - 自動設定: [管理 Web ページにログインする](#) and [ハンドセットの登録を開始する](#)
- リピーターのインストール: [リピーターの追加](#)

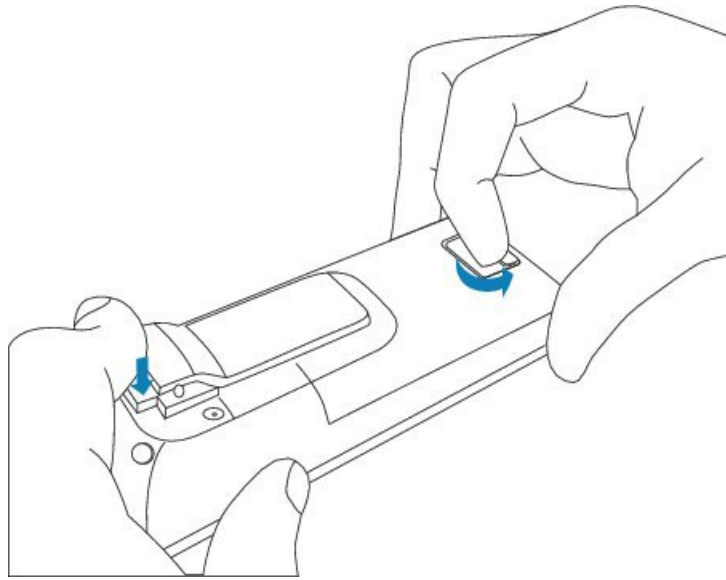
ハンドセットにバッテリーを取り付ける

受話器の電池は送受話器の内部に出荷されますが、電池の接点の上にプラスチックのタブがあります。プラスチックタブを取り外す必要があります。

手順

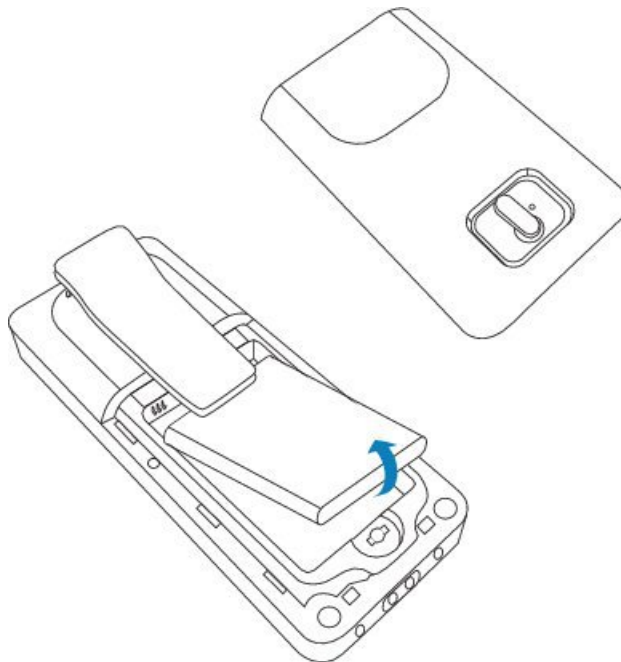
ステップ 1 ハンドセットの背面には、ラッチを反時計回りに回して背面のロックを解除し、クリップを持ち上げ、カバーを持ち上げてバッテリーカバーを取り外します。

■ ハンドセットにバッテリーを取り付ける



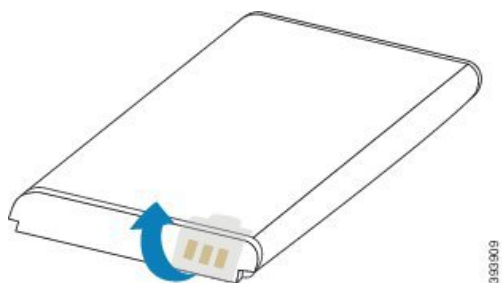
350861

ステップ2 ハンドセットからバッテリーを取り外します。

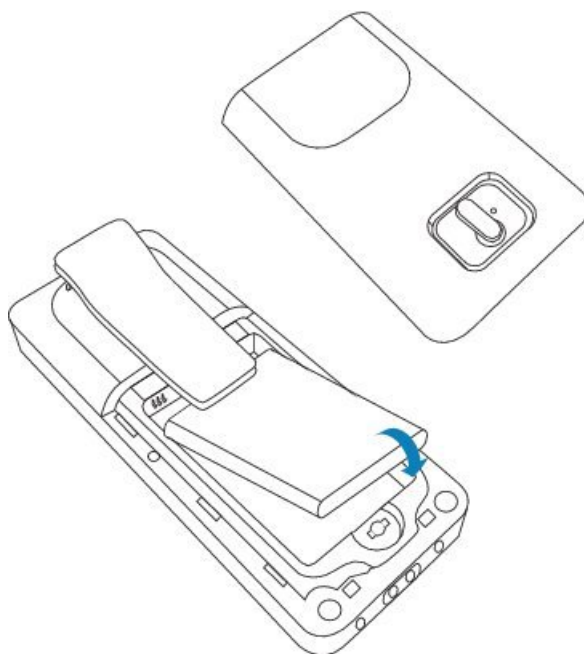


382808

ステップ3 接触の上のプラスチックを取り出します。



ステップ4 バッテリーをクリップの下に置き、コンパートメントに落としてください。

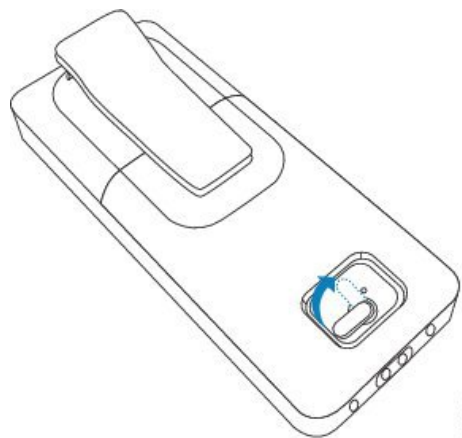


バッテリーの接点は、バッテリーの左上端とバッテリーコンパートメントの左上端にあります。連絡先が適合し、バッテリーがコンパートメントに装着されていることを確認します。

(注) バッテリーは、コンパートメント内の1つの方向にのみ適合します。バッテリーの電源を誤った方法でバッテリーコンパートメントに装着しないようにします。

ステップ5 バッテリーカバーを取り付け、カバーが閉じていることを確認し、ラッチを時計回りに回してロック位置にします。

カバーを強制的に閉じないでください。それが簡単に閉じることができない場合は、取り外して、バッテリーがバッテリーコンパートメントに完全に装着されていることを確認します。



次のタスク

ハンドセットを使用する前に、そのハンドセットを充電する必要があります。[ハンドセットのバッテリーの充電 \(21 ページ\)](#) を参照してください。

充電クレードルをセットアップする

充電クレードルを使用してハンドセットを充電します。クレードルには電源アダプタに接続された USB ケーブルが内蔵されています。電源アダプタは、国の電源コンセント構成と定格電力に合わせて設計されています。

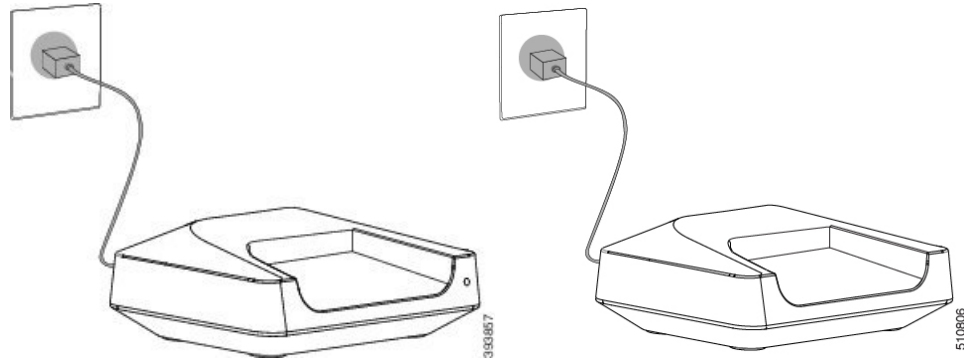
6825 ハンドセットと 6825 高耐久ハンドセットの充電用クレードルには、クレードルの側面に USB ポート、前面に LED インジケータが付いています。現時点では側面の USB ポートを使用がサポートされていません。ハンドセットの充電中に LED インジケータが点灯します。

6823 ハンドセットに付属の充電用のクレードルには、USB ポートと LED インジケータがありません。6825 ハンドセットの充電クレードルを使用してこのハンドセットを充電できます。

手順

- ステップ 1** クレードルを水平面に置きます。
- ステップ 2** 電源コードの USB コネクタを電源アダプタに差し込みます。
- ステップ 3** 電源アダプタを電源コンセントに差し込みます。

図 5: 6825 ハンドセットと 6823 ハンドセットのクレードル充電



ハンドセットのバッテリーの充電

ハンドセット充電器を使用して、ハンドセットバッテリーを充電します。



- (注) バッテリーは部分的に充電されていますが、初めて使用する前に最低 10 時間充電してください。バッテリーが完全に充電されていない場合、バッテリーの寿命が短くなる可能性があります。

バッテリーを取り外して交換する場合は、バッテリーインジケータが正確になるようにバッテリーを完全に放電させてから完全に充電する必要があります。



- 注意** 付属のハンドセット充電器でバッテリーを充電してください。別の方法を使用すると、バッテリー、ハンドセット、または周囲の領域が損傷する可能性があります。

温度が 32°F (0°C) ~104°F (40°C) の環境では、バッテリーを充電しないでください。



- 注意** 危険な環境や爆発の危険性がある場所でバッテリーを充電しないでください。

充電器にハンドセットを置くと、ハンドセットがオンになっていればオンになり、ハンドセットが充電中であるというメッセージが表示されます。設定された時間にハンドセットの画面が暗くなり、オフになります。

ハンドセットの LED が点滅し始めると、ハンドセットはファームウェアを更新しています。

始める前に

[充電クレードルをセットアップする \(20 ページ\)](#) で説明されているようにクレードルをセットアップします。

お使いのハンドセット充電器がコンセントに接続されていることを確認してください。

手順

ハンドセット内の接点と充電器の接点が一致するように、ハンドセットを充電器に置きます。

ハンドセットがビープ音を鳴らし、画面がオンになり、ハンドセットが充電中であることを示すメッセージが表示されます。これが起こらない場合は、充電器からハンドセットを取り出して、再試行してください。

充電器の再生中にハンドセットのビープ音が鳴り続ける場合は、セクション [充電器でハンドセットのビープ音が鳴り続ける](#) のトラブルシューティングソリューションを使用してみてください。
